

佐賀県支部

佐賀県における建設業の新分野進出について

第1章 佐賀県における建設業の新分野進出について

公共事業の抑制、民需の低迷等により建設投資額は、最盛期の半分に落ち込み、建設業を取り巻く経営環境は、経験したことのない厳しい時代となっています。

1 では、全国の建設業の現状についてマクロ的に考察しました。

2 では、佐賀県の建設業の現状について、その存在意義、再生支援、競争時代の到来等についても、触れてみました。

第2章 新分野進出など経営改善に取り組む建設業

アンケートに回答のあった 41 社のうち 19 社を対象に、企業を訪問して、経営者に面談取材をしました。今回は、単に新分野進出についてばかりではなく、合併・買収等経営戦略を含めた経営基盤強化についても、お伺いいたしました。

新分野に取り組む建設業、新技術導入に取り組む建設業、地域活性化・地域貢献を目指す建設業、異業種との連携に取り組む建設業等さまざまな企業を紹介しています。

第3章 アンケート調査

アンケートは、(社) 佐賀県建設業協会会員企業を対象に、220 社あて送付し、そのうち、41 社から回答を得ました。アンケート結果を見てみると、次のことが言えると思います。

建設業を取り巻く環境を考慮すると、現状のままでは先細りするという危機感はもっていますが、具体的に、どうすべきか、どの分野に進むべきか手を打てずにいる状態の企業が多いようです。

中小企業診断士については、知っているとの回答が多かったが、利用度が低く、今後の課題と捉えています。

第4章 調査報告及び提言

第4章では、建設業の定義と特徴を明確にし、それが社会の変化により、どのように変貌しつつあるかを述べています。

その対策として、公的支援と経営基盤強化の具体策と方向性に触れています。

また、具体策の柱として中小企業の新分野進出が重要となります。

最後に、新事業創造のための提言として、経営者のもつべきマインドと新事業成功のためのポイントをあげています。